

「授乳・離乳の支援ガイド（仮称）」の骨子（案）

I 授乳編

〈作成のポイント〉

適切な情報や環境の中で、授乳方法が選択でき、進行できるような支援の充実をねらいとして、

- 育児の出発点ともいえる授乳を通して、母子の健康の確保とともに、親子の関わりが健やかに形成される観点から、
- 授乳の支援にあたって、産科施設や地域において妊産婦や赤ちゃんに接する保健医療従事者が、望ましい授乳の支援のあり方に関する情報を共有化する観点から、作成を行う。

〈構成〉

1 授乳に関する現状

- 平成 17 年度乳幼児栄養調査結果や各種調査研究結果を踏まえ、
- ・授乳方法の推移、授乳について困ったこと
 - ・自治体や産科施設における母乳育児に関する支援状況 等

2 授乳の支援に関する基本的考え方3 授乳の支援のポイント4 参考資料（参考文献含む）

（留意点）

- * 妊娠中から出産後（退院後）まで継続した支援への配慮
- * 産科医、助産師の数が少ない現状にあって、産科施設での取組にのみ特化されないように配慮
- * 効果的、効率的な取組への配慮
- * 低出生体重児、早産のケースへの配慮 等

Ⅱ 離乳編

〈作成のポイント〉

離乳を進める際の「目安」として示されてきた「改定 離乳の基本」（平成 7 年母子保健課長通知）をベースに、

- 授乳とあわせて整理を行う観点から、
- 科学的根拠を踏まえた解説を加える観点から、
- 子どもの健やかな心と身体の発達を支援する「食育」の推進の観点から、再整理を行う。

〈構成〉

1 離乳に関する現状

平成 17 年度乳幼児栄養調査結果や各種調査研究結果を踏まえ、

- ・ 離乳食の開始及び完了時期、離乳食開始の目安の状況
- ・ 離乳食で困ったこと、離乳期に与えた食品の状況 等

2 離乳の支援に関する基本的考え方

3 離乳の支援のポイント

4 参考資料（参考文献含む）

（留意点）

- * あくまでも目安であり、現行以上に細かくなならない方向
- * 離乳準備食の推奨は行わない方向
- * 肥満への配慮（早食いや丸呑みなども含め多面的に）
- * 食物アレルギーへの配慮
- * ベビーフードの適切な使用への配慮 等